



2026年3月25日

各 位

会 社 名 JALCO ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 田辺 順一
(東証スタンダード市場・コード 6625)
問合せ先 管理本部長 櫻井 義郎
電 話 03-3274-5240

資金の借入（ちばぎんリーダーズローンNEXT〔環境設備型〕）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、株式会社千葉銀行（以下「千葉銀行」といいます。）との間で、「ちばぎんリーダーズローン NEXT（環境設備型）」（以下「本ローン」といいます。）による資金の借入を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 借入の目的

当社は、2025年12月5日付で公表した系統用蓄電池事業（第1号案件：千葉県成田市蓄電所（仮称））の推進にあたり、当該事業に係る蓄電池設備等の固定資産を取得する予定であり、本借入は、当該固定資産の取得資金の全額に充当するものです。

系統用蓄電池事業は、再生可能エネルギーの変動吸収や需給調整に貢献し、電力系統の安定化に資する社会インフラであり、当社が不動産事業で培った強みを活かした事業多角化の取り組みとして位置づけております。

当社は、当該固定資産の取得資金を確実に確保するとともに、環境改善効果が認められる設備投資としての位置づけを明確化し、第三者評価および原則年1回の進捗レポーティングを通じて取組の透明性を高めながら本事業を推進することが、当社のGX推進および中長期的な企業価値向上に資すると判断し、本ローンを活用することといたしました。

2. 借入(コミットメントライン)の概要

- (1) 借入先：株式会社千葉銀行
- (2) 借入商品：ちばぎんリーダーズローン NEXT（環境設備型）
- (3) 借入極度額：800,000,000円
- (4) 利 率：TIBOR+0.35%
- (5) 契約締結日：2026年3月25日
- (6) 借入実行日：2026年3月31日
- (7) 弁済期日：2032年3月31日
- (8) 資金使途：系統用蓄電池事業（第1号案件）に係る固定資産の取得資金

3. 本ローン活用の狙い・メリット

- (1) GX投資を資金面から確実に推進し、成長投資を加速
本ローンは、環境改善効果が認められるグリーンプロジェクトへの設備投資を対象としており、当社の系統用蓄電池事業の推進に適合した資金調達手段です。
- (2) 第三者評価により、取組の位置づけを客観化し、対外的な説明力を強化
本ローンは、ちばぎんグループ会社である株式会社ちばぎん総合研究所が第三者評価を行う商品であり、環境設備投資としての適合性を外部評価の形で整理できる点が特徴です。
- (3) 年1回のレポーティングを通じ、効果検証・情報整理の運用体制を強化
原則年1回、環境改善効果等の進捗状況を報告する枠組みにより、投資実行後の効果検証・情報整理を継続的に行う体制づくりにつながります。

(4) SDGs/ESG の取組みを社内外に示し、企業価値向上に資する

本ローンは、サステナビリティ経営に必要な事業資金として活用できるものであり、当社 SDGs/ESG に係る取組みを社内外に示すことを通じて、ステークホルダーとのコミュニケーション強化および中長期的な企業価値向上につながるものと考えております。

4. 今後の見通し

本件が当社の連結業績に与える影響は軽微であると見込んでおります。今後、公表すべき事項が生じた場合には、速やかに開示いたします。

なお、系統用蓄電池は、再生可能エネルギーの出力変動を吸収し、需給調整に貢献することで電力系統の安定化に資する設備であり、GX および脱炭素社会の実現に向けた導入が進む領域です。当社は本事業を通じて、再生可能エネルギーの活用促進および電力需給調整の高度化に貢献し、GX の推進ならびに ESG 経営の強化を図ってまいります。

以 上